

医療型短期入所サービス事業所調査 調査結果

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 24 年度に策定した第 4 次大阪府障がい者計画において重症心身障がい児者が地域で安心して生活を送ることができることを最重点としてこれまで支援施策の充実を図っており、平成 26 年度からは医療型短期入所整備促進事業（令和 2 年度より医療型短期入所支援強化事業）を開始。医療型短期入所事業所における受入れの状況や課題を把握するため調査を実施し、今後の取組の検討材料とする。

2 調査対象者

府内の障がい福祉サービスの指定を受けている医療型短期入所サービス事業所 22 か所

3 調査方法

事業所へアンケートを送付

4 回収結果

19 事業所／22 事業所

II 調査結果

1 形態と利用定員について

	事業所数	定員
併設型	5	62
空床型	14	89
単独型	1	14

2 令和 4 年度の利用者の有無と実利用人数など

利用あり	15
利用なし	4

実利用人数	1,865 人
月利用人数（平均）	18 人（一事業所あたり平均）
月利用日数（平均）	91 日（一事業所あたり平均）

3 利用条件

(1) 利用について必須のもの

障がい福祉サービス受給者証(医療型短期入所の記載あり)	18
身体障がい者手帳(肢体不自由) 1. 2 級	9
療育手帳A	9
その他	3
未回答	1

(2) 身体障がい者手帳や療育手帳がなくても判定スコアがあれば利用できるか

利用できる	4	10 点以上	3
		16 点以上	1
判定スコアや手帳の要件はなく受給者証(医療型短期入所の記載)があれば利用できる	9		
利用できない	5		
未回答	1		

(3) 受入れ可能な ADL について

独立歩行可能	4
介助歩行可能	7
ずりばい可能	12
座位可能	15
寝たきり	18

4 医療的ケアがある方の受入れについて

(1) 受入れは可能か

はい	10
状況により受入れ可能	9
いいえ	0

(2) 上記(1)で「はい」の場合、動ける医療的ケア児の受入れは可能か

はい	2
いいえ	8

(3) 上記(1)で「状況により受入れ可能」の場合の具体的条件

医療的ケアの程度	7
空床の有無	7
対応可能な人員の有無	6
その他	4

5 受入れ可能な医療的ケアの内容

人工呼吸器（気管切開）	14
人工呼吸器（マスク）	13
ネーザルハイフロー	10
気管切開	16
在宅酸素	16
経管栄養（経鼻胃管）	19
経管栄養（胃瘻）	19
経管栄養（腸瘻）	14
中心静脈栄養（静脈に留置された器具への栄養剤等の投与）	11
ストマ	15
導尿	16
腹膜透析	3
浣腸	16
口腔内吸引	18
鼻腔内吸引	17
気管内吸引	17
気管カニューレ内吸引	16

6 年齢制限の有無

あり	16	1 歳以上 6 歳未満	1
なし	3	3 歳以上	2
		6 歳以上 64 歳未満	1
		15 歳未満	4
		18 歳未満	4
		18 歳以上	4

7 登録者数と契約者数

登録者数

18 歳未満	830
18 歳以上	970

契約者数

18 歳未満	865
18 歳以上	954

8 利用登録までに実施していること

診察	18		
ソーシャルワーカー、看護師による面談	13		
体験入所（日帰り）	4	保護者付添あり	2
		保護者付添なし	2
体験入所（宿泊）	7	保護者付添あり	1
		保護者付添なし	6

9 利用申し込みから登録までの日数

1 か月未満	9
1 か月以上 2 か月未満	5
2 か月以上	5

10 緊急レスパイトを受け入れていますか

受け入れている（登録者のみ）	12
受け入れている（未登録の方も可能）	0
受け入っていない	7

11 短期入所中に日中活動支援をしているか

している	8
していない	11

12 体調が悪い時や風邪症状があるときも利用可能か

利用可能	5
利用できない	14